

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会
2026年度夏季定例記者懇談会

資 料

日 時 2026年 8月4日(火)17:00～18:00
場 所 浅草橋ヒューリックカンファレンス

I. 2026年上期(1～6月) SC業界の動向	
1. SC販売統計調査報告	2
2. オープンSCの概要と特徴	3
3. SCの取り組み紹介	6
II. 2026年下期(7～12月) オープン予定のSC等商業施設	7
III. 協会活動トピック	
1. 第11回日本SC大賞・第9回地域貢献大賞	10
2. SC冠講座	14
3. 第32回SC接客ロールプレイングコンテスト	15
4. SCビジネスフェア2027	17
(参考)2026年度下期 主な行事予定	18

令和8年熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

※資料内では、SC＝ショッピングセンターと表現しています。

＜お願い＞

本資料の内容を記事にいただいた場合は、お手数ですが協会事務局まで掲載誌・紙をお送りください。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

I. 2026 年上期 SC 業界の動向 1. SC 販売統計調査報告

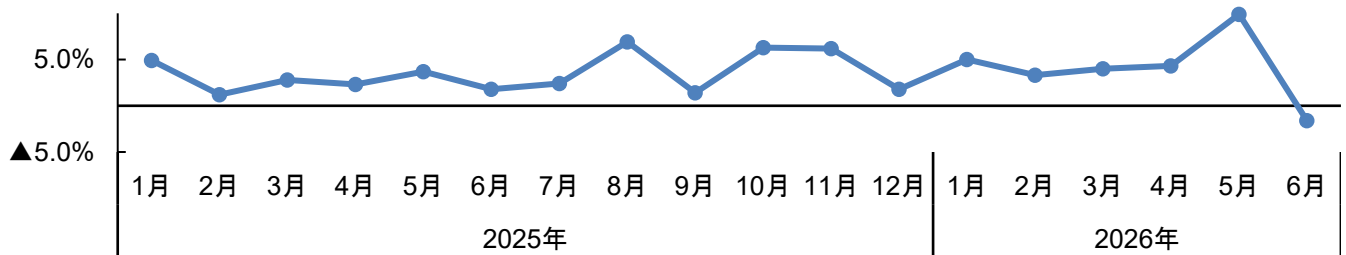
2026 年上期(1～6 月)SC 販売動向

休日日数と天候・気温の影響大

POINT

- ・ 2025 年の SC 総売上高は 1975 年の統計開始以来最高の 33 兆 1,238 億円（前年比+2.7%）(P.8 参照)
- ・ 2026 年 1 月から 4 月は、季節や気候に適した商品が稼働し、特に春休みやゴールデンウィーク、そして 5 月にかけて、外出需要が売上げにつながった。6 月は、3 つの台風が日本付近を通過し、大雨などの悪天候、低気温に見舞われたことで来館者数が減少し、夏物商品の販売も振るわなかったため、2022 年 2 月以来の前年割れとなった。

(1) 既存 SC 売上高の前年同月比伸長率の推移



		2025 年												2026 年						[%]
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
SC 総合		4.9	1.2	2.8	2.3	3.7	1.8	2.4	6.9	1.4	6.3	6.2	1.8	5.0	3.3	4.0	4.3	9.9	▲1.6	
テナント/ キテナント 別	テナント	5.1	1.2	3.1	2.7	5.1	2.1	3.0	7.9	1.4	6.8	6.9	2.2	5.5	4.3	4.0	4.7	10.5	▲1.9	
	キテナント	4.2	1.2	1.7	0.8	▲0.9	0.6	0.4	3.8	1.3	4.6	3.9	0.7	3.5	0.2	3.8	3.2	7.9	▲0.4	
都市 規模別	大都市	6.2	2.8	3.5	3.3	3.0	2.6	1.9	7.7	2.5	7.4	5.6	2.8	6.4	3.4	5.0	5.0	9.5	0.0	
	その他都市	3.9	0.0	2.2	1.4	4.3	1.1	2.8	6.3	0.5	5.4	6.7	1.1	4.0	3.1	3.1	3.8	10.3	▲2.8	
立地別	中心地域	7.6	3.4	4.7	3.7	3.1	3.0	2.1	9.1	3.4	8.1	5.5	3.3	6.9	4.1	6.0	6.3	10.5	1.2	
	周辺地域	3.7	0.2	1.8	1.7	4.0	1.2	2.5	6.0	0.5	5.5	6.5	1.2	4.3	2.9	3.1	3.6	9.7	▲2.8	

大都市 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京都区部・横浜市・川崎市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・広島市・北九州市・福岡市
中心地域 人口 15 万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地 **周辺地域** 中心地域以外の地域

(2) 2026 年上期・各月の概況

月	伸長率前年比	概況
【1 月】	5.0%	初売りの好調に加え、全国的に気温が低下したことで冬物衣料が稼働した。全国的にテナント入れ替え・改装効果のあった SC がとくに好調だった。中心地域はイベント開催により売上増となった SC が多く、周辺地域は天候が安定していた地域の SC が好調だった。
【2 月】	3.3%	月の前半は日本海側を中心に大雪に見舞われた地域があったものの、後半からは全国的に気温が上昇したことで来館者が増え、春物衣料の稼働につながった。
【3 月】	4.0%	月後半から全国的に気温が上昇したことに加え、春休みや 3 連休があったことで春物衣料や新生活関連商品が稼働した。卒入学・歓送迎などのオケーション需要も本格化した。
【4 月】	4.3%	全国的に天候不順があったものの、気温上昇により初夏物衣料や UV 対策、冷感商品などの季節商材が稼働した。新生活需要や春休み、ゴールデンウィークの外出需要も売上げにつながった。
【5 月】	9.9%	前年に比べて休日日数が 2 日多かったことに加えゴールデンウィークの曜日回りに恵まれたことで、売上げ・来館者数ともに前年を上回った SC が多かった。全国的に気温が上昇したことで夏物衣料や UV 対策商品、冷感アイテム、エアコンなど季節商品の需要が高まり、売上増に寄与した。
【6 月】	▲1.6%	前年に比べて休日日数が 1 日少なかったことに加え、台風や大雨、低気温に見舞われたことで来館者数が減少。夏物商品の販売も振るわず、2022 年 2 月以来 51 カ月ぶりに前年割れとなった。

既存 SC 売上高前年同月比伸長率の時系列データ「統計データベース」を公開中
<https://www.jcsc.or.jp/membership/statistics.html>



I. 2026年上期SC業界の動向 2. オープンSCの概要と特徴

2026年上期(1~6月)オープンSC[速報]

上期の新規開業SC数は18SC、平均テナント数は32店舗

POINT

- ・2026年上期の新規開業は18SC（2026年7月20日時点）で前年から回復
- ・地域密着型のNSCが多く、店舗面積1万㎡未満が6割超、平均テナント数は32店舗
- ・テナント業種において「飲食」「サービス」の比率が増加。SCにおける“コト消費化”がいつそう進む

(1) 2026年上期(1~6月)オープンSC

オープンSC数			平均店舗面積 (㎡)	平均テナント数 (店舗)
	中心 地域	周辺 地域		
18	3	15	14,992	32

中心地域 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地

周辺地域 上記以外の地域

(2) 都道府県別オープンSC数

6SC	東京都
2SC	埼玉県、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県
1SC	栃木県、岐阜県

(3) オープンSCの過去年比較

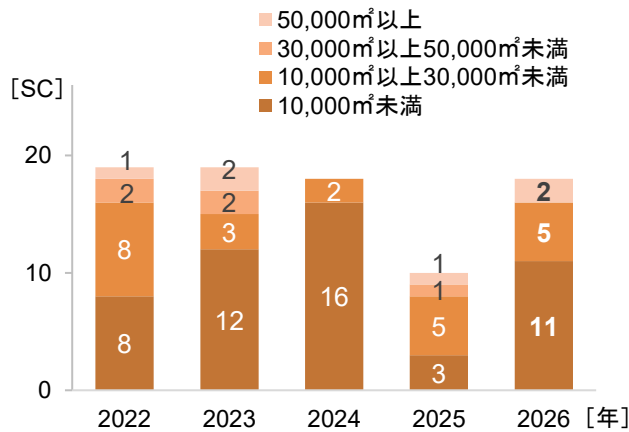
① オープンSC数・平均店舗面積・店舗面積計・平均テナント数(1~6月)

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
オープンSC数	19	19	18	10	18
平均店舗面積(㎡)	17,566	17,102	6,625	20,352	14,992
店舗面積計(㎡)	333,756	324,931	119,242	203,516	269,861
平均テナント数(店舗)	49	52	30	82	32

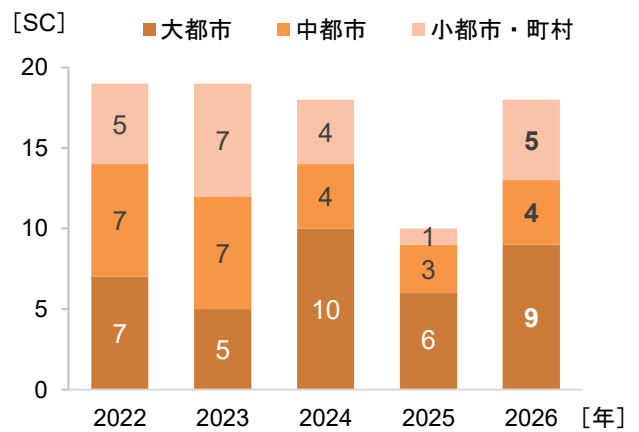
(注)2024年までは旧SC取扱い基準によるデータ。

2025年以降は新基準によるデータ。以下の図表も同様。

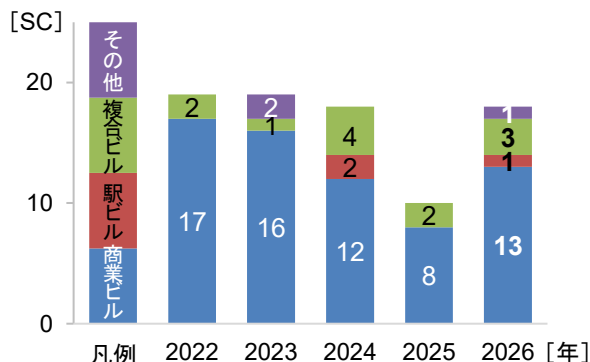
② 店舗面積別(1~6月)オープンSC数



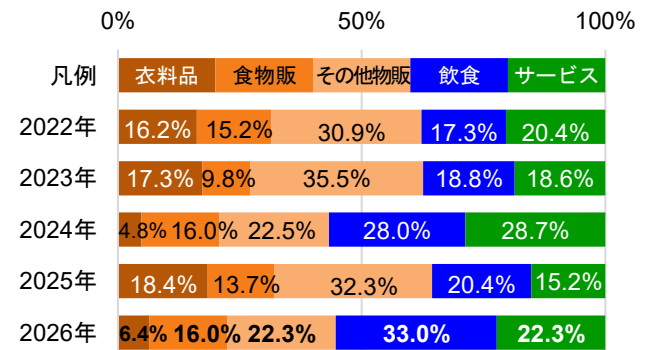
③ 都市規模別(1~6月)オープンSC数



④ ビル形態別オープンSC数(1~6月)



⑤ オープンSCのテナント数業種別構成比(1~6月)



(注)テナント数はキーテナントを除く

(4) 2026 年上期 (1~6 月) オープン SC 一覧

(オープン日順、2026 年 7 月 20 日時点の速報版)

No	オープン日 注1	SC名	所在地	都市規模 注2	ディベロッパー	店舗面積 (㎡)注3	テナント 数注4	キーテナント
1	1月	フォレストスクエア仙川	東京都調布市	中都市	㈱カワタケ、 ㈱三越伊勢丹	2,879	16	
2	2月25日	FLAT小平	東京都小平市	中都市	㈱プライムプレイス	5,075	13	オーケー小平小川東町店
3	3月7日	ゆめモール那珂川	福岡県那珂川市	小都市	㈱イズミ	5,641	21	ゆめ마트那珂川、ベスト電器ゆめモール那珂川店、無印良品那珂川
4	3月14日	IT tower TOKYO	東京都豊島区	大都市	IT tower TOKYO (同)	4,966	11	ビックカメラ池袋西口 IT tower 店
5	3月19日	BASEGATE横浜関内	神奈川県横浜市中区	大都市	三井不動産㈱、(株)ディー・エヌ・エー、東急㈱、京浜急行電鉄㈱	20,550	55	ワンダリア横浜、THE LIVE supported by 大和地所
6	3月20日	フレスポうつのみや市場	栃木県宇都宮市	中都市	大和リース㈱	8,477	22	かましんうつのみや市場店
7	3月25日	Beisia Town 新狭山店	埼玉県狭山市	小都市	㈱ベイシア	5,856	15	ベイシア新狭山店
8	3月27日	イオンタウン岐阜北方	岐阜県本巣郡北方町	小都市	イオンタウン㈱	53,960	25	イオンスタイル岐阜北方
9	3月28日	イオンタウン東浦和	埼玉県さいたま市緑区	大都市	イオンタウン㈱	4,293	22	マルエツ イオンタウン東浦和店
10	3月28日	OIMACHI TRACKS SHOPS & RESTAURANTS	東京都品川区	大都市	㈱アトレ	17,000	81	
11	4月16日	フォレストモール 東海太田川	愛知県東海市	小都市	㈱フォレストモール	6,445	11	エクボスタイル太田川店、ケースデンキ東海店
12	4月25日	イオンタウンあびこ駅前	大阪府大阪市住吉区	大都市	イオンタウン㈱	3,947	18	フードスタイルあびこ駅前店
13	4月25日	クオーツ心斎橋	大阪府大阪市中央区	大都市	ヒューリック㈱、心斎橋開発特定目的会社	7,185	52	
14	5月29日	COTOE橋本 (コトエ橋本)	神奈川県相模原市緑区	大都市	大和ハウス工業㈱、大和ハウスリアルティマネジメント㈱	15,607	21	ヤオコーコトエ橋本店、ニトリ COTOE 橋本店、コジマ×ビックカメラ COTOE 橋本
15	6月11日	HAERA (ハエラ)	愛知県名古屋市中区	大都市	㈱バルコ、 ㈱大丸松坂屋百貨店	11,146	65	
16	6月11日	レイリア春日原	福岡県春日市	小都市	西日本鉄道㈱	4,444	10	レガネット春日原
17	6月26日	イオン八王子滝山	東京都八王子市	中都市	イオンモール㈱	17,000	21	
18	6月30日	ヨドバシカメラマルチメディア池袋、LINKS IKEBUKURO	東京都豊島区	大都市	㈱ヨドバシ建物	75,390	93	ヨドバシカメラマルチメディア池袋、西武池袋本店
					(店舗面積計) 269,861 ㎡			

注1：オープン日は原則として施設が SC の定義に該当した日を記載している。

注2：都市規模区分は下記の通り。

大都市：政令指定都市、東京都区部

中都市：大都市を除く人口 15 万人以上の都市

小都市・町村：人口 15 万人未満の都市、町村

注3：各 SC の店舗面積は小数点以下を四捨五入した値であるため、店舗面積計と各 SC の店舗面積を合計した値は必ずしも一致しない。また概数を含む。

注4：テナント数にキーテナントを含む。

(5) 2026 年上期（1～6 月）オープン SC の主な特徴

キーワード1 地域コミュニティ拠点

地域住民の日常生活を支える拠点として位置づけられているとともに、人が集まる・滞在する空間設計で、単に便利なだけでなく、「楽しさ・快適さ」を強化している SC が多くなっています。

事例)

Beisia Town 新狭山店

(埼玉県狭山市)



㈱ベisiaが開発した新フォーマットの複合型店舗1号店で、都市型展開を牽引する旗艦店に位置づけられる。「ひだまりコート」「とまり木コート」などの休憩スペースに憩いの空間を創出。心地よい居場所を提供し、地域の暮らしに寄り添う“都市型の生活拠点”を目指す。

画像提供：㈱ベisia

イオンタウン岐阜北方

(岐阜県本巣郡北方町)



コンセプトに「つなぐガーデン北方」を掲げ、「もちの木広場」と「河川内広場」という2つの広場が、毎日立ち寄りたくなる賑わいとコミュニティの場を創出。地域の“よりどころ”となるSCを目指すとともに、町と連携し安全・安心な地域づくりに貢献する。

画像提供：イオンタウン㈱

キーワード2 エリア価値向上

大都市では駅前立地の再開発によりエリア価値を向上させる複合型SCが目立ちました。単なるショッピングの場ではなく、「食べる・遊ぶ・働く・泊まる」が一体化した都市拠点となっています。

事例)

BASEGATE 横浜関内

(神奈川県横浜市中区)

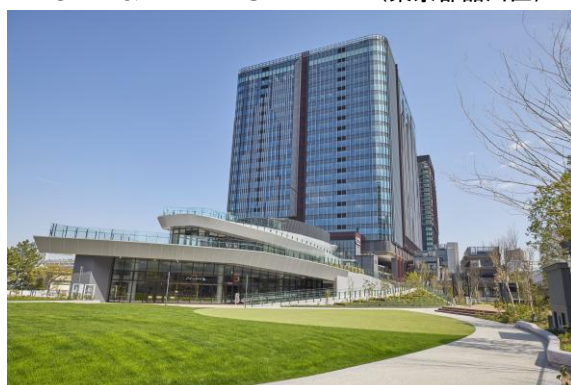


JR 関内駅前の旧市庁舎街区活用事業により誕生した大規模複合街区。商業、オフィス、ホテルで構成される。商業エリアには国内最大級の小割飲食ゾーン「スタジアム横バル街」を中心に55店舗展開。ライブビューイングアリーナや没入型体験施設も備える。

画像提供：三井不動産㈱

OIMACHI TRACKS

SHOPS & RESTAURANTS (東京都品川区)



JR 大井町駅直結の複合施設「OIMACHI TRACKS」内に開業した、JR 東日本グループ初となるアウトモール型商業ゾーン。広場でのBBQや眺望を楽しむスパ・サウナなど体験型機能を備え、新業態や地域の名店が集結。JR 東日本が掲げる広域品川圏における「都市生活共創拠点」の実現を目指す。

画像提供：OIMACHI TRACKS

I. 2026 年上期 SC 業界の動向 3. SC の取り組み紹介

2026 年上期の代表的な取り組み事例

企業の枠を超えた『コラボレーション』／ 従業員・お客様の『“好き”を応援』

キーワード1 企業の枠を超えた『コラボレーション』で、地域・社会課題の解決につなげる

事例)

ディベロッパー×ディベロッパー

大手ディベロッパー2 社が
採用・学習支援でタッグ

イオンモール(株)×三井不動産商業マネジメント(株)



「SC 業界を盛り上げ、お客様も働く人も笑顔にしたい」という共通の思いを持つ2 社が、採用・学習支援の2 つの共同プロジェクトを発足。『**学生が働きたくなる SC の実現プロジェクト**』は、2026 年4 月より実証実験として西東京エリアの両社 SC および近隣大学と連携し、出張型の合同アルバイト説明会や SC で働く学生同士の交流会などを開催した。『**地域の未来をはぐくむ SC 学習プロジェクト**』は、木更津市内の両社 SC および同市と連携し、「木更津市子ども PR 大使」に任命された市内小学校児童が、両社の SC を舞台に同市の魅力を発見し、それを市内外の人に伝える PR イベントを開催。同年2 月にプロジェクトの成果を発表した。

画像提供 (一部) : イオンモール(株)、三井不動産商業マネジメント(株)

テナント×テナント (促進)

テナント同士のコラボ促進で

新ビジネス創出と循環型社会実現に貢献

(株)JR 東日本クロスステーション



2026 年3～5 月に、新たな視点での**サステナブルフェア『ぐるぐる、つなげる』**を開催。同社デベロッパーカンパニー運営の各施設から計 11 ショップが参加。第1 弾企画では、テナント同士がロスパンや廃棄、規格外フルーツなどの15 種類の未利用・余剰食材を持ち寄り、互いに新商品を企画開発。パンやスイーツなど全33 種類の循環型メニューを開発・販売した。テナント販促やサステナビリティへの理解促進という目的だけでなく、テナント企業の新たなビジネス創出や循環型社会の実現につなげるなど、先を見据えた取り組みとなっている。

画像提供 : (株)JR 東日本クロスステーション デベロッパーカンパニー

キーワード2 従業員・お客様の『“好き”を応援』

事例)

ビジネスコンクールを通じて社員の“好き”を応援
(株)丸井グループ

社員の「好き」を起点にしたビジネスアイデアを同社が全面支援し、事業化を目指す、『**“好き”を応援するビジネスコンクール**』を2024 年より開催。写真は2026 年3 月に開催したファイナルステージの様子。アルバイト社員の「好き」から誕生した「ミュージアム エポスカード」(カード券面には各ミュージアムの作品などを採用し、利用金額に応じたポイントの一部が寄付としてミュージアムの管理運営に役立てられる仕組み)などが、これまでに実現している。

画像提供 : (株)丸井グループ

同じ趣味を持つ“仲間づくり”を応援

ザザシティ 浜松中央館 [静岡県浜松市]



2026 年1 月に、20 歳以上を対象とした参加型コミュニティイベント『**オトナのブカツ**』を始動。平日夜に1 階のフードホール「はままつ楽市」にて、落語や音楽などの共通の趣味を持つ仲間づくり(交流)や学びの場を提供する企画。静岡・浜松にゆかりのある落語家やアーティストなどの協力のもと、これまでに「落語部」「音部」「手品部」「ワイン部」などを開催している。

画像提供 : 日管(株)

II. 2026 年下期 オープン予定の SC 等商業施設

2026 年下期(7~12 月)オープン予定の SC 等商業施設

開業予定は13施設となる見込み、半数が関東に開業

(1) 2026 年下期 (7~12 月) オープン予定の SC 等商業施設一覧

(オープン予定日順、2026 年 7 月 20 日時点の速報版)

No	オープン 予定日	SC名等	所在地	店舗面積等 (㎡)	ディベロッパー
1	7 月 3 日	ジョイホン小山駅前店	栃木県 小山市	約 8,000	(株)ジョイフル本田
2	7 月 9 日	淀屋橋ゲートタワー	大阪府 大阪市 中央区	4,250	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合、 大和ハウス工業(株)、住友商事(株)、関 電不動産開発(株) ほか
3	8 月 4 日	天神ビジネスセンターⅡ	福岡県 福岡市 中央区	4,617	天神一丁目 761 プロジェクト合同会 社、福岡地所(株)
4	9 月 17 日	minanoba 川口	埼玉県 川口市	7,713	東京建物(株)、(株)プライムプレイス
5	9 月 17 日	JIYUGAOKA MUSE SQUARE	東京都 目黒区	約 11,000	自由が丘一丁目 29 番地区市街地再開 発組合、ヒューリック(株) (注)
6	9 月	中井口・高見台商業施設	福岡県 北九州市 小倉北区	23,257	(株)トライアルエステート
7	10 月	そよらつくば学園の森	茨城県 つくば市	9,975	イオンリテール(株)
8	11 月	そよらひたち野うしく	茨城県 牛久市	18,549	イオンリテール(株)
9	秋	まるひろ入間 SC	埼玉県 入間市	約 18,000	(株)丸広百貨店
10	秋	そよら津桜橋	三重県 津市	18,982	イオンリテール(株)
11	秋	天満屋ハピーズ西大寺モール	岡山県 岡山市東区	7,284	(株)天満屋ストア
12	12 月 9 日	アトレ中野	東京都 中野区	約 7,300	(株)アトレ
13	下期	イオンモール伊達	福島県 伊達市	約 62,000	イオンモール(株)

※表中データは既にオープンした SC も含む。

※すべての商業施設が SC の基準を満たすかどうか現時点では不明であるため、「SC 等商業施設」としている。

※開業予定は大店立地法届出情報、各企業発表の内容等に基づく。

※オープン予定のため面積は店舗面積等とした。

注:ヒューリック(株)は参加組合員。

JIYUGAOKA MUSE SQUARE (東京都目黒区)



画像提供: 住商アーバン開発(株)

イオンモール伊達 (福島県伊達市)



画像提供: イオンモール(株)

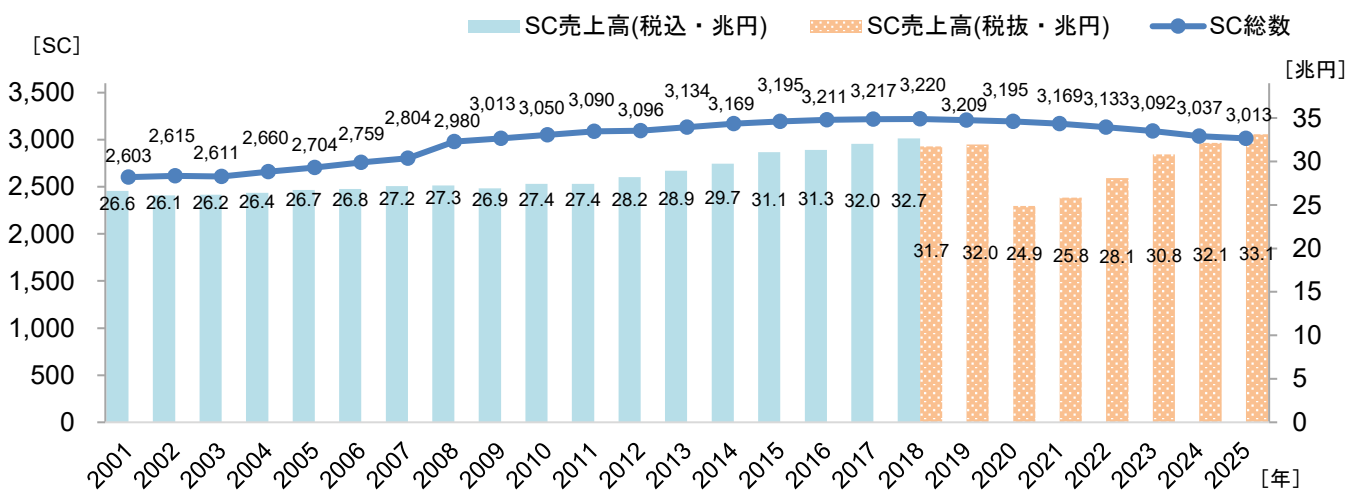
【参考】2025 年末の SC 概況

図表 1-1 SC 総数、店舗面積等の推移

年 (西暦)	総 SC 数	総テナント数 (店舗) 注 1	平均 テナント数 (店舗) 注 2	SC 総店舗面積 注 2 (㎡)	平均 店舗面積 (㎡) 注 3	SC 年間総売上高 (推計値) 注 4 (百万円)
2012	3,096	151,774	49	46,399,010	14,987	28,187,600
2013	3,134	154,659	49	47,869,188	15,274	28,920,900
2014	3,169	157,164	50	49,760,294	15,702	29,738,500
2015	3,195	159,131	50	50,770,809	15,891	31,077,900
2016	3,211	159,066	50	51,724,612	16,109	31,325,900
2017	3,217	160,591	50	52,531,060	16,329	32,035,500
2018	3,220	161,960	50	53,193,597	16,520	32,659,500
2019	3,209	163,437	51	53,651,811	16,719	31,969,400
2020	3,195	163,613	51	53,991,842	16,889	24,901,600
2021	3,169	163,992	52	54,302,789	17,136	25,839,200
2022	3,133	164,653	53	54,350,047	17,348	28,089,700
2023	3,092	163,712	53	54,413,963	17,598	30,826,000
2024	3,037	162,289	53	53,909,123	17,751	32,125,400
2024※	3,065	165,447	54	54,106,743	17,653	32,260,300
2025	3,013	164,545	55	53,972,771	17,913	33,123,800

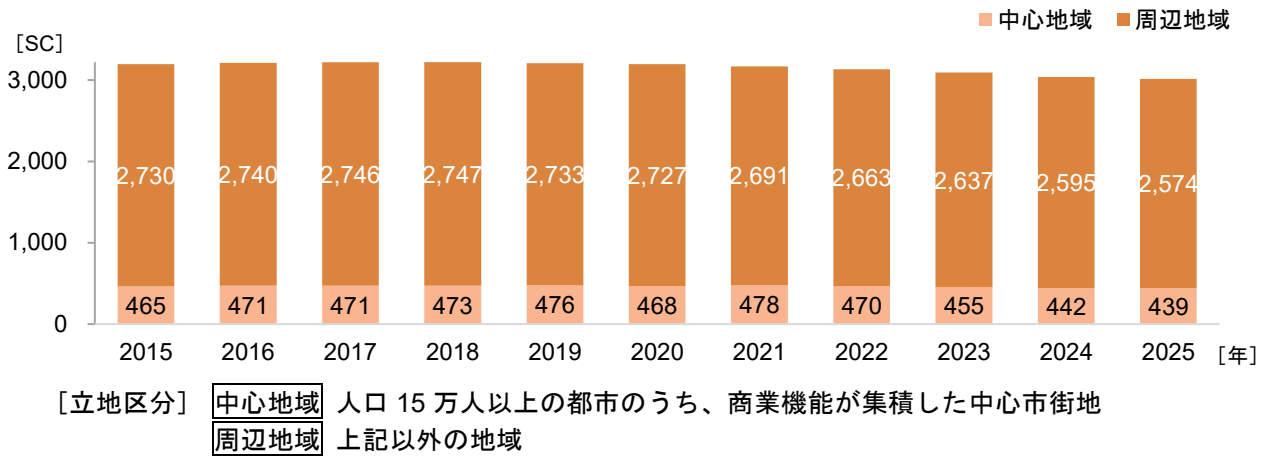
※2024 年の上の行は 2024 年までの旧 SC 取扱い基準に基づくデータ。下の行は 2025 年より適用した新 SC 取扱い基準に基づくデータ。
 注 1 2024 年（旧基準）までの総テナント数にキーテナントは含まない。2024 年（新基準）からの総テナント数はキーテナントを含む。
 注 2 平均テナント数は、2024 年（旧基準）まではキーテナントを除いたテナント数を用いて算出し、2024 年（新基準）からはキーテナントを含むテナント数を用いて算出した。
 注 3 店舗面積は、SC 内の物品販売業、飲食業、サービス業それぞれの店舗区画の面積。店舗間の通路は含まない。
 注 4 SC 年間総売上高は、協会が毎月実施している SC 販売統計調査から得られた SC の面積あたりの年間販売額の推計値を基に算出した値。2018 年までは消費税込、2019 年以降は消費税抜。

図表 1-2 SC 総数と年間総売上高の推移

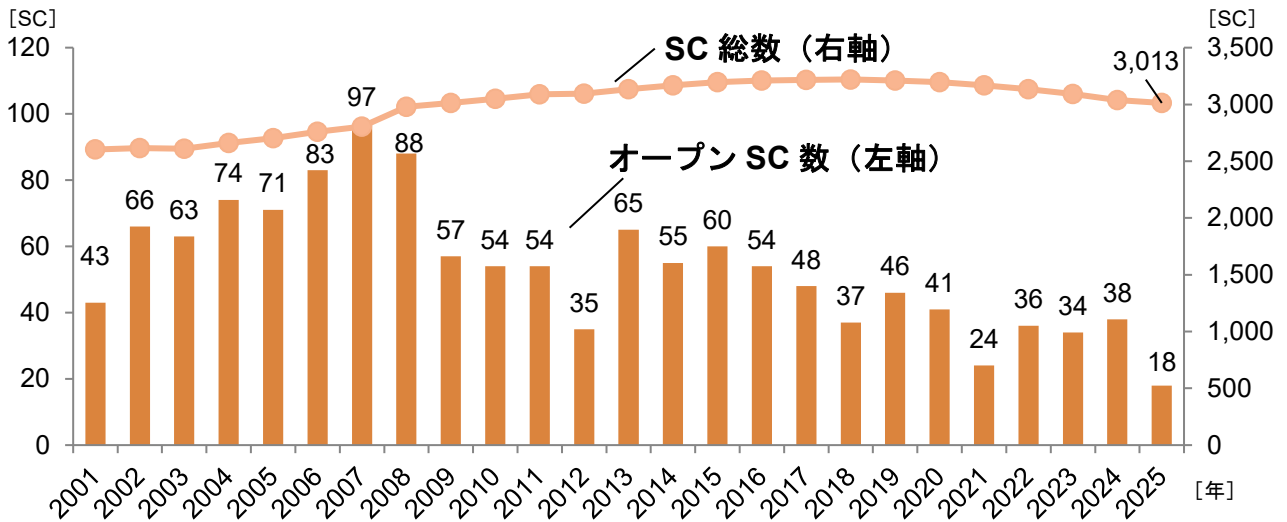


(注) 2024 年までは旧 SC 取扱い基準、2025 年は新 SC 取扱い基準に基づくデータ。図表 1-3～図表 2-2 も同様。
 SC 年間総売上高については、図表 1-1 の注 4 参照。

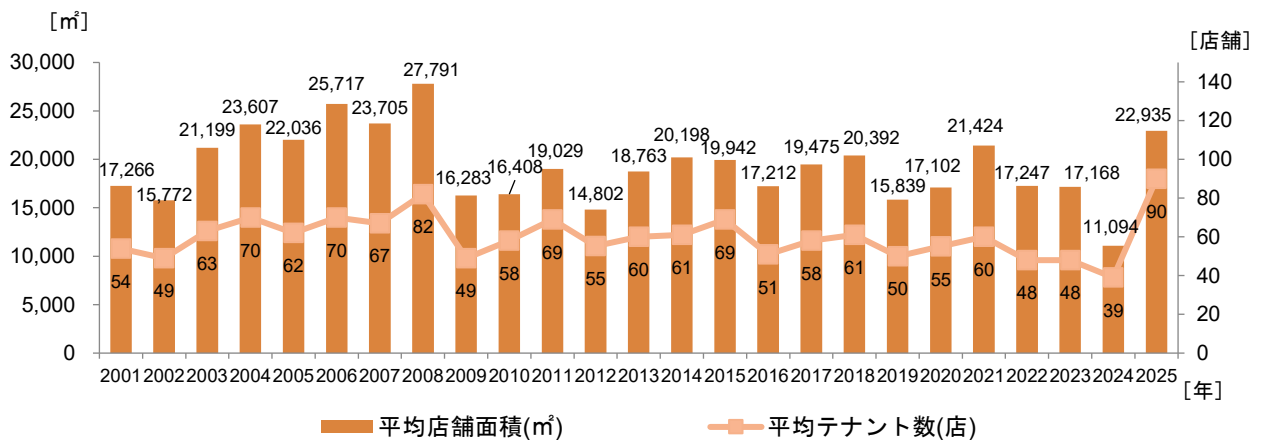
図表 1-3 立地別 SC 数の推移



図表 2-1 新規オープン SC 数および SC 総数の推移



図表 2-2 オープン SC の平均店舗面積・テナント数の推移



Ⅲ. 協会活動トピック 1. 第11回日本SC大賞・第9回地域貢献大賞

第11回日本SC大賞・第9回地域貢献大賞

エントリーSC募集中、受賞SCは2027年春に発表予定

当協会は2年に1度『日本SC大賞』および『地域貢献大賞』を開催しています。

「日本SC大賞」は、協会創立30周年を記念して、これからのSCのあり方を示唆し社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として2004年に創設しました。

「地域貢献大賞」は、当協会が策定した「地域貢献ガイドライン」(2007年1月作成、2020年3月一部改訂)をもとに、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰することを目的に2008年に創設。特に地域貢献に優れたSCには、当協会の2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名前を冠した「倉橋良雄賞」を授与します。

2026年度は、約1年をかけて『第11回日本SC大賞・第9回地域貢献大賞』の選考を行い、2027年春に受賞SCを発表する予定です。

【トピックス】**■エントリー受付中**

2026年6月26日からエントリーSCの募集を開始しました(8月31日23時59分締切)。

<選考対象と評価期間>

【選考対象】 2025年12月31日までにオープンした全国の3,013SC

* 当協会の会員、会員外は問いません

* 部門賞「ニューフェイス賞」は、2024年1月～2025年12月にオープンしたSC

* 選考対象のSC一覧はこちら⇒



【評価期間】 2024年7月～2026年6月までの2年間

<エントリー方法>

所定のエントリーシート(1枚)に、SCに関するデータと、評価項目に沿ってアピールポイントを記入のうえ、写真を添付してご応募ください。

■併願および部門賞単独でのエントリーも可能

前回同様、併願および部門賞単独でのエントリーができます。

さらに歴代金賞(大賞)受賞SC・地域貢献大賞受賞SCについて、受賞後6年間の殿堂入り期間を過ぎるとエントリー可能です。したがって今回は、第1回～第8回日本SC大賞・金賞受賞SC、第1回～第6回地域貢献大賞受賞SCが選考対象に含まれます。

■受賞SCの発表

受賞SCは2027年春に発表予定です。

2027年5月開催予定の「第55回定期総会」後に表彰式を執り行います。

日本SC大賞・地域貢献大賞サイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_support/scawards



【参考：歴代受賞 SC】

※SC 名・賞名は受賞当時のもの、()内は推薦(ノミネート)支部名

◆日本 SC 大賞

	金賞	銀賞	銅賞
第 10 回 (2025 年)	★「ルクア大阪」(近畿) ＜経済産業省商務・サービス審議官賞＞	「軽井沢・プリンスショッピング プラザ」(関東・甲信越) 「阪急西宮ガーデンズ」(近畿)	
第 9 回 (2023 年)	★新静岡セノバ (中部) ＜経済産業省商務・サービス審議官賞＞	★ELM (エルム) (東北)	★MARK IS みなとみらい (関東・ 甲信越)
第 8 回 (2019 年)	★二子玉川ライズショッピングセン ター／テラスマーケット (関東・甲信越)	★ルクア／ルクアイーレ (近畿)	★JR タワー (アピア・エスタ・パ セオ・ステラプレイス) (北海道)
第 7 回 (2017 年)	★御殿場プレミアム・アウトレット (中部)	★渋谷ヒカリエ (関東・甲信越)	★イオンレイクタウン (関東・甲信越)
第 6 回 (2015 年)	★テラスモール湘南 (関東・甲信越)	★JR 博多シティ (アミュプラザ博 多) (九州・沖縄)	★軽井沢・プリンスショッピングプラ ザ (関東・甲信越)
第 5 回 (2013 年)	★阪急西宮ガーデンズ (近畿)	★ルミネエスト店 (関東・甲信越)	★エスパル仙台店 (東北)
第 4 回 (2010 年)	★ラゾーナ川崎プラザ (関東・甲信越)	★パークプレイス大分 (九州・沖 縄)	★イオンモール岡崎 (中部) ★天王寺ミオ (近畿)
第 3 回 (2008 年)	★ららぽーと TOKYO-BAY (関東・甲信越)	★アミュプラザ鹿児島 (九州・沖 縄)	★モリタウン (関東・甲信越)
第 2 回 (2006 年)	★ルミネ横浜 (関東・甲信越)	★札幌ステラプレイス (北海道) ★御殿場プレミアム・アウトレット (関東・甲信越)	★アトレ恵比寿 (関東・甲信越) ★イオン岡崎ショッピング センター (中部) ★ヘップファイブ (近畿)
第 1 回 (2004 年)	★玉川高島屋ショッピングセンター (関東・甲信越)	★ファッションドーム 141 (東北) ★TOKYO-BAY LaLaport (関東・甲信越)	—

◆日本 SC 大賞・部門賞

第 10 回 (2025 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：麻布台ヒルズ (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：フォレストサイドビル (専門店街フォーリス、ミッテン府中) (関東・甲信越) ◆ES 賞：ラブリートパートナーエルパ (近畿) ◆特別賞：星が丘テラス (中部)
第 9 回 (2023 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：グランベリーパーク (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：スマーク伊勢崎 (関東・甲信越) ◆ES 賞：ピオレ姫路 (近畿) ◆特別賞：VISON (ヴィゾン) (中部) ◆50 周年記念特別賞：渋谷 PARCO (関東・甲信越)
第 8 回 (2019 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：ギンザシックス (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：ニッケパークタウン (近畿) ◆ES 賞：JR タワー (アピア・エスタ・パセオ・ステラプレイス) (北海道)、新静岡セノバ (中部) ◆特別賞：南三陸さんさん商店街 (東北)
第 7 回 (2017 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：モリパークアウトドアヴィレッジ (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：金沢百番街 (中部) ◆ES 賞：イクスピアリ (関東・甲信越) ◆特別賞：オガールプラザ・オガールベース (東北)
第 6 回 (2015 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：グランフロント大阪 ショップ&レストラン (近畿) ◆リノベーション賞：くずはモール (近畿) ◆特別賞：おのだサンパーク (中国・四国)、コレド室町 (関東・甲信越)、渋谷ヒカリエ (関東・甲信越)
第 5 回 (2013 年)	＜部門賞＞ ◆ニューフェイス賞：テラスモール湘南 (関東・甲信越) ◆リノベーション賞：江釣子ショッピングセンター・パル (東北) ◆景観賞：なんばパークス (近畿) ◆40 周年記念賞：SHIBUYA109 (関東・甲信越) ◆特別賞：御殿場プレミアム・アウトレット (中部)

第4回 (2010年)	<部門賞> ◆ニューフェイス賞：阪急西宮ガーデンズ（近畿） ◆エコロジー賞：イオン大日ショッピングセンター（近畿） ◆リノベーション賞：該当なし ◆空間デザイン賞：箕面マーケットパーク ヴィソラ（近畿）
第3回 (2008年)	<部門賞> ◆リ・ボーン賞：エスト（近畿） ◆景観賞：星が丘テラス（中部） ◆人にやさしいSC賞：イオンモール下田（東北） ◆ニューフェイス賞：ラゾーナ川崎プラザ（関東・甲信越） 高松丸亀町壱番街（中国・四国）
第2回 (2006年)	<部門賞> ◆コミュニティ貢献賞：ファッションドーム 141（東北） ◆ブランディング賞：SHIBUYA109（関東・甲信越） ◆タウンリノベーション賞：丸ビル（関東・甲信越） ◆リノベーション賞：京阪モール（近畿） ◆サイン&デベロップ賞：ダイヤモンドシティテラス（近畿） ◆副都心振興賞：アルパーク（中国・四国） ◆マルチメディアコンプレックス賞：イムズ（九州・沖縄）
第1回 (2004年)	<特別賞> ◆環境特別賞：イオングループSC（イオン㈱、イオンモール㈱）（関東・甲信越） ◆CS特別賞：ルミネ（㈱ルミネ）（関東・甲信越） <部門賞> ◆マーチャンダイジング：パセオ（北海道） ◆マーケティング：江釣子ショッピングセンター・パル（東北） ◆まちづくり：香林坊アトリオ（中部） ◆ふれあい・わくわく空間づくり：ギャレ ザ グレード アウトドアーズ大阪（近畿） ◆地域活性化：シーモール下関ショッピングセンター（中国・四国） ◆ローコスト運営：アミュプラザ長崎（九州・沖縄）

◆地域貢献大賞

第 8 回 (2025 年)	大賞（倉橋良雄賞）＜国土交通省都市局長賞＞		流山おおたかの森 S・C（関東・甲信越）
	地域貢献賞	北海道	maruyama class
		東北	エスパル仙台
		中部	マーサ 21 ショッピングセンター
		近畿	ピオレ姫路
		中国・四国	さんすて福山
		九州・沖縄	イオンモール宮崎
第 7 回 (2023 年)	大賞（倉橋良雄賞）＜国土交通省都市局長賞＞		SAKURA MACHI Kumamoto（九州・沖縄）
	地域貢献賞	北海道	イオンモール苫小牧
		東北	イオンモールいわき小名浜
		関東・甲信越	ビナウォーク
		中部	カラフルタウン岐阜
		近畿	アリオ八尾
		中国・四国	イオンモール高知
第 6 回 (2019 年)	大賞（倉橋良雄賞）		ポップタウン住道オペラパーク（近畿）
	地域貢献賞	北海道	赤れんがテラス
		東北	イオンモール天童
		関東・甲信越	南砂町ショッピングセンター スナモ
		中部	ラスカ熱海
		中国・四国	イオンモール倉敷
		九州・沖縄	鳥栖プレミアム・アウトレット
第 5 回 (2017 年)	大賞（倉橋良雄賞）		トレッサ横浜（関東・甲信越）
	地域貢献賞	北海道	イオンモール札幌発寒
		東北	エスパル仙台
		中部	新静岡セノバ
		近畿	ゲンゼタウンセンターつかしん
		中国・四国	ザ・モール周南
		九州・沖縄	マルヤガーデンズ

第4回 (2015年)	大賞（倉橋良雄賞）		たまプラーザテラス（関東・甲信越）
	地域貢献賞	北海道	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン
		東北	泉パークタウン・タピオ
		中部	アスナル金山
		近畿	あべのキューズモール
		中国・四国	イオンモール倉敷
		九州・沖縄	木の葉モール橋本
第3回 (2013年)	大賞（倉橋良雄賞）		イオンモール石巻（東北）
	地域貢献賞	北海道	4丁目プラザ
		関東・甲信越	ダイナシティ
		中部	T-FACE
		近畿	御影クラッセ
		中国・四国	高松丸亀町壱番街
		九州・沖縄	パークプレイス大分
第2回 (2010年)	大賞（倉橋良雄賞）		シーモール下関ショッピングセンター（中国・四国）
	地域貢献賞	北海道	新さっぽろアーキシティ サンピアザ・デュオ
		東北	盛岡駅ビル・フェザン
		関東・甲信越	丘の上プラザ ミウィ橋本
		中部	刈谷ハイウェイオアシス
		近畿	ニッケパークタウン
		九州・沖縄	イオンモール宮崎
第1回 (2008年)	大賞（倉橋良雄賞）		江釣子ショッピングセンター・パル（東北）
	地域貢献賞	北海道	イオン札幌平岡ショッピングセンター
		関東・甲信越	佐野プレミアム・アウトレット アルカキット錦糸町
		中部	フューチャーシティ・ファポーレ
		近畿	エコール・マミ
		中国・四国	アルパーク
		九州・沖縄	ゆめタウン光の森

Ⅲ. 協会活動トピック 2. SC 冠講座

社会貢献と次世代人材育成を目的に、『SC 冠講座』を開講

2026 年度は「国土舘大学」(前期)と「北星学園大学」(後期)で実施

当協会では、大学等に「SC 冠講座」を開講しています。SC 冠講座は、協会設立 30 周年記念事業の一環として 2003 年度より実施している寄付講座で、SC に関する知見や実務の考え方を大学教育に提供する社会貢献活動です。これにより、社会に開かれた学びの機会を創出し、次世代の人材育成に貢献することを目的としています。

これまで延べ 35 大学・大学院で実施し、学生履修者は延べ約 8,600 人にのぼります。実務家である「SC 経営士」が講師を務め、SC の歴史や計画、開発、運営までを体系的に学ぶ講義として展開しています。

(1) 講座の特徴

本講座は、実務に基づいた内容を特徴としています。教室での講義に加え、双方向型のディスカッションや現地視察を取り入れることで、商業施設の現場理解を深めることを重視しています。講座は半期(13～15 回)で構成され、大学において単位認定が行われます。単位認定の内容は、文部科学省の定める大学設置基準を基本として、各大学が独自に設定しています。

<過去 5 年間の実施状況>

年度	大学名	学生履修者数(人)
2021	流通科学大学	370
	日本大学	90
2022	宮城大学	140
	専修大学	20
2023	流通科学大学	330
	多摩大学	120
2025	国土舘大学	184
	流通科学大学	260



※2024 年度は実施なし

(2) 2026 年度の実施状況

2026 年度は、前期(4～7 月)に東京の「国土舘大学」で開講し、履修登録は 120 人。後期(9～1 月)は北海道の「北星学園大学」で開講予定です。

<主な授業テーマ(前期：国土舘大学)>

- ・ SC とは(日本の SC・海外の SC)
- ・ SC を創る(SC の開発、新規開発された SC の事例を研究)
- ・ SC の魅力(管理運営・テナントサポート、マーケティング、地域連携など)
- ・ SC の成長(リニューアル、新たな SC のカタチ、未来の SC など)

<主な講師協力企業(前期：国土舘大学)>

(株)アトレ、イオンモール(株)、NTT アーバンバリューサポート(株)、(株)京王 SC クリエイション、(株)JR 東日本クロスステーション、渋谷スクランブルスクエア(株)、(株)西武不動産、大和ハウスリアルティマネジメント(株)、(株)東急モルズデベロップメント、東京オペラシティビル(株)、東神開発(株)、東日本旅客鉄道(株)、三井不動産商業マネジメント(株)、三菱地所プロパティマネジメント(株)

SC 冠講座サイト

https://www.jcsc.or.jp/sc_support/universitysupport


Ⅲ. 協会活動トピック 3. 第32回SC接客ロールプレイングコンテスト

第32回SC接客ロールプレイングコンテスト

～心を動かす一瞬を競う～ “SC 接客日本一”を目指して全国へ

『SC 接客ロールプレイングコンテスト』は、1995年度から開催している日本最大級の接客コンテストです。SC業界の一層の発展を目的とし、SC内店舗で働くテナントスタッフの資質向上を図り、お客様に長く支持されるSCづくりを目指し、接客技術を競います。

本コンテストは毎年9月～11月にかけて、全国7支部（北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）で支部大会を開催します。※関東・甲信越支部は、東京および関東・甲信越の2大会を開催。

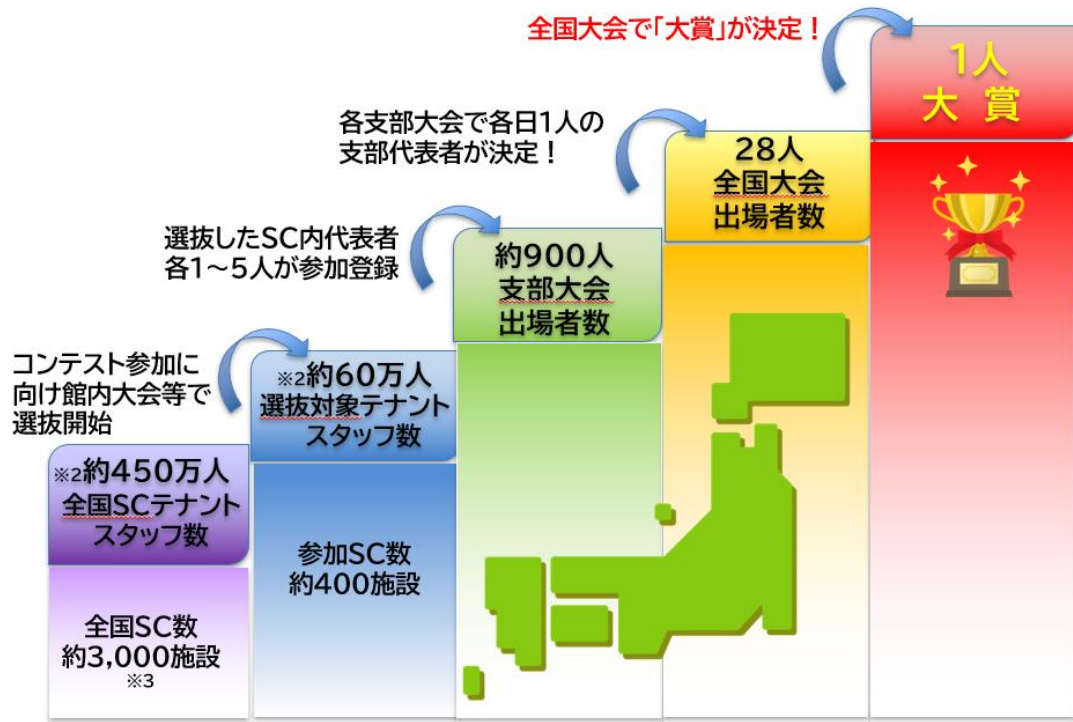
「ファッション・物販」「食品・飲食・サービス」の2部門に分かれて競技を行い、各日で多くの優秀者を表彰するとともに最も優秀だった競技者1人※1が支部代表として選抜され、全国大会に出場します。

全国大会は、毎年1月下旬に開催し、支部大会を勝ち進んだ地区代表から大賞“SC 接客日本一”を決定。大賞受賞者には、あわせて経済産業大臣賞が授与される予定です。

(1) 全国のSCで働くテナントスタッフ約450万人※2の頂点を目指して

本コンテストは、当協会の会員企業であるかを問わず、全国約3,000のSCすべてを対象として参加募集を行っています。全国のSCで働くテナントスタッフ約450万人※2の頂点を目指し、多くのSCからディベロッパー主催の館内大会等で選抜されたSC内代表者が各支部大会に出場。そこで勝ち抜いた支部代表者が全国大会で競い合い、たった1人の「大賞」＝“SC 接客日本一”が選ばれます。

【SC接客ロールプレイングコンテスト 全体イメージ】
大賞（経済産業大臣賞）＝ SC接客日本一



※1 支部大会によって1日に2部門開催する場合は、各部門1人ずつ支部代表者を決定する。

※2 「全国SCテナントスタッフ数」「選抜対象テナントスタッフ数」は、1SCあたりのSC内テナントスタッフ数を「1,500人」として算出した概算となる。

※3 概算値のため、SC総数とは差異がある。

(2) 第 32 回 (2026 年度) SC 接客ロールプレイングコンテストの開催概要

「第 32 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト」は、中部大会を皮切りに 9～11 月にかけて下記の日程・会場で支部大会を開催。会場の様子は前年度に引き続きライブで映像配信する予定です。

記者の皆様におかれましても、各支部大会へのご来場をお待ちしております。

※開催前に取材案内を改めてお送りします。

<支部大会スケジュール>

支部大会	開催日程	会場	対象都道府県
北海道	10 月 5 日(木)	札幌市民交流プラザ (クリエイティブスタジオ)	北海道
東北	11 月 18 日(水)・19 日(木)	ホテル メトロポリタン仙台	青森、岩手、宮城、 秋田、山形、福島
関東・甲信越	10 月 26 日(月)～30 日(金)、 11 月 2 日(月)	全電通労働会館	茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、神奈川、 新潟、山梨、長野
東京	9 月 28 日(月)～10 月 2 日(金)	全電通労働会館	東京
中部	9 月 9 日(水)～11 日(金)	JR ゲートタワー カンファレンス	富山、石川、岐阜、 愛知、三重、静岡
近畿	10 月 13 日(火)～16 日(金)	ホテル京阪京橋グランデ	福井、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	10 月 22 日(木)・23 日(金)	おかやま未来ホール (イオンモール岡山)	鳥取、島根、岡山、 広島、山口、徳島、 香川、愛媛、高知
九州・沖縄	9 月 24 日(木)・25 日(金)	西鉄ホール (ソラリアステージ)	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄

なお、2026 年度支部大会より、1SC からの参加可能人数が変更となっております。

店舗数	参加枠
テナント数 10～149 店舗	2 名
テナント数 150～199 店舗	3 名
テナント数 200～249 店舗	4 名
テナント数 250 店舗～	5 名

<全国大会>

会期：2027 年 1 月 29 日(金) 会場：パシフィコ横浜

【参考】前回 (第 31 回) SC 接客ロールプレイングコンテスト全国大会の様子

SC 接客ロールプレイングコンテストサイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_convention/roleplaying



Ⅲ. 協会活動トピック 4. SCビジネスフェア 2027

SC ビジネスフェア 2027

～ビジネスチャンスの創出と交流を促進。SC 業界の課題解決につなげる業界唯一の商談展示会～

2027年1月27日(水)～29日(金)の3日間、パシフィコ横浜にて「SC ビジネスフェア 2027」を開催いたします。同フェアは年に一度、SC 関係者が一堂に会する SC 業界唯一の商談展示会です。

「出会い、発見、チャンス、そして未来へ。」の言葉を掲げ、SC 業界の関係者にビジネスチャンスを創出するとともに、SC ビジネスにおける課題解決につながるさまざまな情報を発信いたします。

(1) 開催概要

会 期：2027年1月27日(水)～29日(金)10:00～17:30 ※最終日は10:00～17:00

コンテンツ：商談展示会、セミナー、講演、懇親パーティー

会 場：商談展示会+セミナー <パシフィコ横浜 展示ホール C・D>

講演+懇親パーティー（賀詞交換会）（27日のみ）<パシフィコ横浜 アネックスホール>

(2) 企画内容

①商談展示会・セミナー

SC 業界の「ディベロッパー」「テナント」「DX・サポート」の多様な企業が多数出展し（前回実績：156社）、自社の事業戦略や商品・サービスなどを展示・紹介します。3日間で延べ4万人が来場し、新たなビジネスチャンスにつながっています。また会期中には、出展者によるプレゼンテーションやパネルディスカッションも開催され、顧客体験価値の向上、運営の効率化、人材不足への対応など、SC 運営における課題解決に資する多様な情報を発信します。

②講演・懇親パーティー

初日（1月27日）にはアネックスホールにて、業界の著名講師を迎えた講演を開催し、変革期にある SC 業界に向け、次代の方向性や課題解決のヒントを示唆する講演会を2本予定しています。講演会終了後には、全国から集まった業界関係者による賀詞交歓会を兼ねた懇親パーティーを実施し、実務に直結する情報交換やネットワーク構築の場を提供します。

③注目のイベント

《チャレンジピッチ》

リアルな場をもつ SC だからこそ提供できる価値のさらなる向上を目指し、5回目となる「チャレンジピッチ 2027」を開催いたします。

スタートアップから SC 業界へさまざまなイノベーションを提案してきた「チャレンジピッチ」。引き続き、スタートアップと事業会社をつなぐピッチイベントを手掛ける New Commerce Ventures(株)と共催。SC 事業者とスタートアップの交流を促進。新たな導入機会や共創の創出につなげます。

【参考】前回（SC ビジネスフェア 2026）の様子



SC ビジネスフェア 2027 サイト
<https://www.scbizfair.com>



2026 年度下期 主な行事予定

日程	イベント名	取材可否	場所
9～11 月	第 32 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト 支部大会	○	全国 8 会場
11 月 13 日(木) ～17 日(月)	第 147 回ショッピングセンター海外視察研修ツアー	－	米国ニューヨーク
11 月 19 日(木) ～20 日(金)	第 25 回 SC 秋晴れトップフォーラム (会員企業の代表者、役員クラスによる研鑽と交流)	－	広島
12 月 18 日(金)	2026 年度冬季定例記者懇談会	○	東京 (ワテラスコモンホール)
2027 年 1 月 27 日(水) ～29 日(金)	第 51 回日本ショッピングセンター全国大会 ・ SC ビジネスフェア 2027 ・ 第 32 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト 全国大会 (1 月 29 日(金))	○	神奈川 (パシフィコ横浜)

※内容等を変更させていただく場合がございます。

※取材可否＝○となっているものについては、事前に取材案内をお送りする予定です。

【参考資料】

●ショッピングセンター（SC）の定義

ショッピングセンターとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

＜SC取り扱い基準＞

ショッピングセンターは、ディベロッパーにより計画、開発されるものであり、次の条件を備えることを必要とする。

- 1.小売業の店舗面積は、1,000㎡以上であること。
- 2.テナントが10店舗以上含まれていること。
- 3.最大店舗の面積がSC面積の80%程度を超えないこと。但し、最大店舗の面積を除いた小売業の店舗面積が1,000㎡以上である場合には、この限りではない。
- 4.広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

SCのイメージとしては、単体の施設ではなく複数の店舗の集合体であるとともに、1つの単位として管理・運営されている施設を指す。具体的な例としては、百貨店やGMS、SMなどを核とした大型商業施設やシネコン・ホテル・公共施設などを併設した複合施設、ファッションビル、駅ビルや地下街などがある。

またディベロッパーという言葉も、本来の不動産開発という意味よりはむしろ、SCを管理・運営する立場を指す場合のほうが現状では多い。

●一般社団法人 日本ショッピングセンター協会とは

日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のSCの発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に立ち上げられた。1975年4月には、社団法人として通商産業省（現経済産業省）から許可を受けた。その後2012年4月1日、内閣府から認可を受け共益的活動を中心として行う一般社団法人に移行した。

会 長	菰 田 正 信	三井不動産(株)	代表取締役会長
副 会 長	大 野 恵 司	イオンモール(株)	代表取締役社長
〃	山 口 正 人	JR西日本SC開発(株)	相談役
〃	佐 野 公 哉	片倉工業(株)	顧問
〃	保 元 道 宣	(株)オンワードホールディングス	代表取締役社長
〃	棕 本 充 士	(株)グルメ杵屋	代表執行役社長
専務理事	上 田 隆 康	(一社)日本ショッピングセンター協会	

会員数（2026年7月31日時点）

第一種正会員 289社 第二種正会員 269社 賛助会員 407社 ／ 合計 965社

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 広報担当
〒112-0004
東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 15 階
電話: 03-5615-8524 FAX: 03-5615-8539
mail: pr@jcsc.or.jp